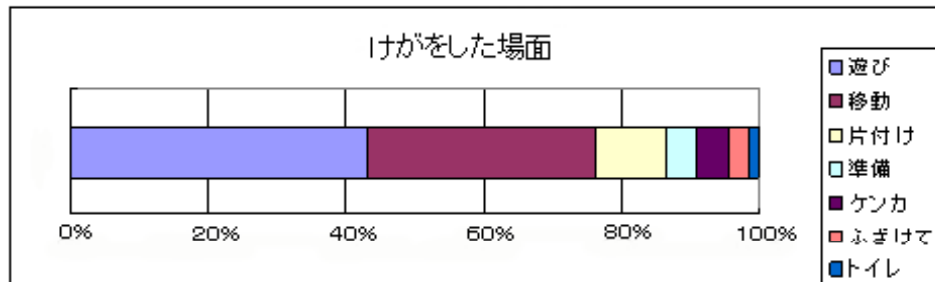


歯・口のけがを防ごう！

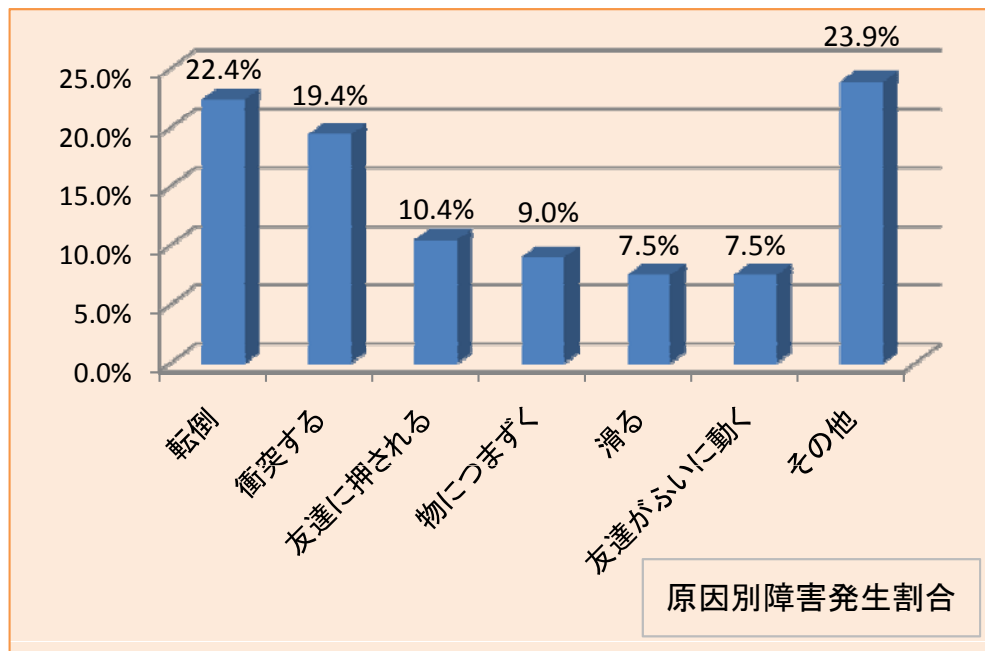
（幼稚園・保育所編）

幼児では、転倒、衝突する、友達に押されるが原因で歯・口をけがすることが多く、歯・口のけが全体の52.2%を占めています。また、場面別でみると遊んでいる場面や移動している場面でのけがが多く発生しています。



（けがの実態）

- ・事故は男児に多く、年齢では4・5歳児が多い。
- ・幼児の事故は、自由な場面で起こることが多い。特に遊んでいる時が多い。
- ・幼児の場合は歯牙破折よりも、「亜脱臼、脱臼」が多い。



安全管理（ここに気をつけよう！）

- ① 安全な物的環境づくり
例：物を片づける、角にカバーを付ける 等
- ② 教諭等の配慮
例：廊下や玄関が混雑しないよう時間差をつける 等
- ③ 安全な園生活のための約束
例：廊下は走らない 等
- ④ 身体機能の発達を促す環境・活動
例：けがをしないように運動経験を積ませる 等

こんなけがが多いよ！（幼稚園・保育所編）

☆転倒する☆ ～追いかけてっこで転ぶ～

ホールの遊具をみんなで片付ける。片付けが終って広くなったホールでA児とB児がじゃれるように追いかけてっこを始める。A児が転び、口を床にぶつける。（4歳男児）



☆友達におされる☆ ～背中を押さないで～

ままごとをしていたE児とF児が、どちらが赤ちゃんの世話をするかでけんかとなり、人形の取り合いになる。E児が人形を持って逃げ出したため、F児は追いかけてE児の背中を押す。（6歳女児）

☆友達と衝突する☆ ～入口には気をつけて～

保育室からホールに行こうと廊下へ飛び出したC児は、廊下から保育室へ入ろうとしたD児と正面衝突する。C児の口とD児の頭がぶつかる。（5歳男児）



☆友達がふいに動く☆ ～周りを見て行動しよう～

G児は友達と砂場で山作りをしていた。H児はG児の後ろからその様子を興味深く見ている。H児がいるとこに気が付かないまま、G児は川に水を流すことを思い付き、水を汲んでこようと立ち上がる。G児の手元を覗き込もうとしていたH児の顔にG児の後頭部がぶつかる。（6歳男児）